

大学

「令和7年度入学式」举行

4月1日、「令和7年度文京学院大学・大学院入学式」が、本郷キャンパス仁愛ホールにて執り行われました。(写真提供：スタジオ・トナミ)



外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部の4学部と、大学院外国語学研究科、経営学研究科、人間学研究科、保健医療科学研究科、看護学研究科、福祉医療マネジメント研究科の6研究科の入学式が、本郷キャンパス仁愛ホールで举行されました。午前と午後に分かれて、それぞれ2学部3研究科の新入生が緊張の面持ちで出席しました。

福井勉学長が創立者島田依史子先生の建学の精神について触れ、「自立」と「共生」の意義と、様々な体験や決断を繰り返しながら自分自身を作り上げることの大切さ、自分以外の誰かの幸せを考えることが、その人の生き甲斐になることなど告辞を述べ、新入生を激励しました。

閉会后、午前は本郷キャンパスの「ダンス部」、午後はソングリーディングダンスチーム「LEOPARDS」が新入生歓迎パフォーマンスを披露。力強いパフォーマンスに圧倒された様子でした。

「My Statement」

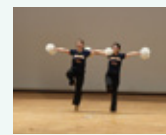
新入生が本学で成し遂げたい夢や目標を表明するマイステイトメントはホームページに掲載しています



入学式
当日の様子は
こちら▶



「Photo Gallery」



〈新しい教員の紹介〉

- | | |
|------------|--|
| 〔外国語学部〕 | 前田宏美 特任助教(文京語学教育研究センター) |
| 〔経営学部〕 | 阿部裕香里 准教授 / 奥村晶子 助教 |
| 〔人間学部〕 | 星野まり 助手 |
| 〔保健医療技術学部〕 | 東めぐみ 教授 / 手嶋昭子 准教授 / 南迫裕子 准教授 / 川村美香子 助教 / 吉野里奈 助教 |

中高

「令和7年度入学式」举行

4月6日、「令和7年度文京学院大学女子中学校・高等学校入学式」が、本郷キャンパス仁愛ホールにて執り行われました。(写真提供：スタジオ・トナミ)



中学校入学式



高等学校入学式

「中学校」

中学校の入学式が、午前に文京学院大学本郷キャンパス仁愛ホールで举行されました。今年中学校長に就任した島田美紀校長の式辞、学校法人文京学院の島田昌和学院長・理事長の式辞に続き、教育提携を結ぶアオバジャパン・インターナショナルスクール光が丘キャンパス校長のポール・フラダーレ先生が、新入生への思いを述べて祝福されました。その後、後援会「ふじ会」の安藤慎二会長の祝辞に続き、来賓が紹介されました。そして、在校生代表の外山晴美生徒会長(3菊)が「歓迎の言葉」、新入生代表の渡邊恵菜さん(1桃)が「誓いの言葉」を述べました。式後は歓迎の意を込めて、本校吹奏楽部・新体操部・演劇部による演奏・演技の披露がありました。

〈新校長・副校長・教頭になられた先生〉

島田美紀
中学校校長



石井 淳
中学校副校長



藤井亮太郎
高等学校教頭



〈新しい先生の紹介〉 佐藤寿代 中学主幹 / 白石直也 教諭 / 中原雅信 教諭

「高等学校」

高等学校の入学式が、午後に文京学院大学本郷キャンパス仁愛ホールで举行されました。高等学校の清水直樹校長の式辞、学校法人文京学院の島田昌和学院長・理事長の式辞に続き、アオバジャパン・インターナショナルスクール文京キャンパス校長のダミアン・レンチュール先生が、新入生への思いを述べて祝福されました。その後、後援会「ふじ会」の安藤慎二会長の祝辞に続き、来賓が紹介されました。そして、在校生代表の岩崎文音生徒会長(3藤)が「歓迎の言葉」、新入生代表の桂嶋もえさん(1梅)が「誓いの言葉」を述べました。式後は本校吹奏楽部・新体操部・演劇部による歓迎の演奏・演技の披露がありました。

「Photo Gallery」



中学校高等学校のホームページ・SNSからも当日の様子をご覧ください。



ホームページ



インスタグラム

幼稚園

「令和7年度入園式」举行

4月9日に文京幼稚園、4月12日にふじみ野幼稚園の入園式が、各園にて執り行われました。
(写真提供：スタジオ・トナミ)

文京幼稚園



ふじみ野幼稚園



今年度の入園式は晴天に恵まれて、桜の花びらが舞う園庭で行うことができました。

益田薫子園長からは「幼稚園には楽しいことがいっぱいです。園庭では砂場遊び、外まご、大きな滑り台やアスレチックも楽しいし、出来上がったばかりの“にわかち”という木のおうちもありますよ。困ったことがあっても優しい先生やお兄さん・お姉さんが助けてくれますから安心して毎日通ってくださいね」と言葉を送りました。保護者の皆様には、「お子さん方はこれからの3年間、園で多くの人と関わり、遊びの中で発見しながらたくさんのことを学んでいきます。幼児期は人格形成の基礎を作る大事な時期です。園児一人ひとりが心も体も大きく成長できるように、教職員全員で心を込めて保育に当たってまいります」とお伝えしました。

式の中では教員による人形劇、親子一緒に手遊び歌の時間があり、年長児手作りの大きなペンダントをプレゼントされた新入園児は笑顔がいっぱいでした。

文京学院大学ふじみ野幼稚園に入園されたみなさん、そして保護者のみなさま、誠にありがとうございます。

ふじみ野幼稚園は、みなさんがたくさんのことを見つれたり、気づいたり、体験したりするところです。そうしていると、もっと楽しいことを考えたり、ずっとやってみたくなったり、先生たちや仲間たちに言いたくなったりしていきます。幼稚園に毎日、元気に通っていろいろな遊びをしていくと、もっともっと新しい遊び方を考え出したり、うまくできたという気持ちがいっぱい増えていきます。そうしていると、みなさんには自信や期待、そして楽しい気持ちが積み重なっていきます。年中・年長クラスのみなさんとも一緒に「やってみよう!」「やった!」「できたよ!」がいっぱいの幼稚園にしましょう。(園長 橋田 敦)

〈新しい先生の紹介〉
文京幼稚園：加地七星 教諭

幼稚園の活動をInstagramで
ご覧いただけます。



文京幼稚園

ふじみ野幼稚園

高校

難易度が高い(日東駒専以上)大学への合格率(実人数)が5年連続上昇

文京学院大学女子高等学校における2024年度の進路状況が発表されました。本校が取り組む「国際教養コース」「理数キャリアコース」「スポーツ科学コース」のコース制により、個々の能力を最大限に伸ばし進路結果に結実しました。

2025年3月 大学等進路結果

コース別の主な大学の進学先

国際教養コース			理数キャリアコース			スポーツ科学コース		
A class			T class			A class		
成蹊大学	学習院大学	成蹊大学	成蹊大学	横浜国立大学	早稲田大学	成蹊大学	立教大学	早稲田大学
成城大学	立教大学	成城大学	国学院大学	帯広畜産大学	法政大学	立教大学	立教大学	法政大学
獨協大学	法政大学	獨協大学	明治学院大学	学習院大学	GMARCH	獨協大学	法政大学	GMARCH
日本女子大学	明治大学	日本女子大学	日本女子大学	法政大学	上記大学の合計	日本女子大学	明治大学	上記大学の合計
東洋大学	成城大学	東洋大学	日本赤十字大学	芝浦工業大学	成成明国武獨	東洋大学	成城大学	成成明国武獨
日本大学	明治学院大学	日本大学	順天堂大学	東洋大学	津田/東大/日女	日本大学	明治学院大学	津田/東大/日女
麻布大学	獨協大学	麻布大学	日本大学	日本女子大学	日東駒専	日本大学	獨協大学	日東駒専
日本獣医生命科学大学	東洋大学	日本獣医生命科学大学	東京農業大学	日本赤十字大学	その他	日本赤十字大学	東洋大学	その他

コース別進学校種

	国際教養コース		理数キャリアコース		スポーツ科学コース	
	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数
大 学	113	80	63	48	20	18
短期大学	2	2	0	0	1	0
海外大学	0	0	0	0	0	0
専門学校	10	10	2	2	1	1
併設大学	25	12	13	6	5	4



全国的に見て国公立大学の倍率は昨年よりも微増でした。本年度は国公立大学に2名の生徒が合格しました。



短期大学に進学する生徒は全コース合わせても3名のみです。短期大学への進学率は全国的に減少しており、本校でも減少傾向となっています。



専門学校進学者も全国的に減少傾向です。本校も昨年よりも減少しました。

併設大学進学者数 学部学科/専攻 内訳

学部	学科 / 専攻	人数
外国語学部	国際ビジネスコミュニケーション専攻	0名
	国際教養コミュニケーション専攻	2名
経営学部	経営コミュニケーション学科	1名
	マーケティング・デザイン学科	2名
人間学部	児童発達学科	2名
	人間福祉学科	1名
保健医療技術学部	心理学	1名
	理学療法学科	0名
	作業療法学科	2名
	臨床検査学科	1名
	看護学科	10名

進路分析

昨年度は、日東駒専以上の難易度の高い大学への合格率(実人数)は、37.6%で、あともう少しで40%を超えるという状況でした。一方、本年度は40%に達することができ、昨年度よりも増加しました。これは、本校を卒業した生徒の4割が日東駒専以上の難易度がある大学へと進学したことになります。

また、難関大学(国公立、早慶上理ICU、GMARCH)の合格率(実人数)も7.4%に達し、昨年よりも増加しました。本年度の合格者の多くは学校推薦型選抜、総合型選抜を利用しました。「受かる大学への出願」ではなく「攻めの姿勢の出願」という意識で受験に挑む生徒が年々増えてきているような印象があります。学校推薦型選抜、総合型選抜は決して楽な選抜ではありません。探究活動や部活動などで培った能力をアピールし、将来のビジョンをプレゼンテーションするなど、偏差値以外の能力も求められます。

今後の進路支援の方針として、学力向上を目指しつつも、生徒達にあらゆる経験を積み機会を用意し、進学実績向上に繋げていきたいと考えています。



進路支援部長 進池一哉 教諭

難易度が高い大学の合格率の推移 ※ () 内は実人数

	2024年度		2023年度	
	人数	%	人数	%
国公立	2(2)	1.1(1.1)	1(1)	0.6(0.6)
早慶上理ICU	4(1)	2.1(0.5)	7(4)	4.0(2.3)
GMARCH	13(11)	6.9(5.9)	11(6)	6.4(3.5)
上記大学の合計	19(14)	10.1(7.4)	19(11)	11.0(6.4)
成成明国武獨	24(19)	12.8(10.1)	18(12)	10.4(6.9)
津田/東大/日女	16(9)	8.5(4.8)	11(8)	6.4(4.6)
日東駒専	20(16)	10.6(8.5)	19(14)	11.0(8.1)
その他	19(17)	10.1(9.0)	22(20)	12.7(11.6)
延べ人数合計	98	52.1	89	51.4
実人数合計	75	40.0	65	37.6
在籍人数	188		173	

難易度が高い大学に合格した生徒の受験選抜方法 ※ () 内は実人数

	2024年度		2023年度	
	人数	%	人数	%
学校推薦型選抜(公募制)	8(7)	4.3(3.7)	11(11)	6.4(6.4)
学校推薦型選抜(指定校制)	40(40)	21.3(21.3)	20(20)	11.6(11.6)
総合型選抜	35(21)	18.6(11.2)	23(22)	13.3(12.7)
スポーツ推薦	2(2)	1.1(1.1)	2(2)	1.2(1.2)
一般選抜	13(5)	6.9(2.7)	33(10)	19.1(5.8)
延べ人数合計	98	52.1	89	51.4
実人数合計	75	40.0	65	37.6
在籍人数	188		173	

大学

「ブレーメンズ」学生が 地域交流で石川県珠洲市を応援 プロジェクト収益を義援金として寄付

「ブレーメンズ」では、2024年1月に発生した能登半島地震と、同年9月に発生した豪雨により甚大な被害を受けた方々を支援するために、一般社団法人SAVE IWATEと共に能登半島地震・豪雨災害支援を行ってきました。

そして、2月21日、「ブレーメンズ」の代表学生2名が、石川県珠洲市役所を訪問し、昨年10月に大学祭で実施した「能登まつり御膳(輪島塗)チャリティプロジェクト」の活動を報告するとともに、プロジェクトの収益300,250円を泉谷満寿裕市長に寄付しました。

また、翌日22日には、珠洲市大谷町第1回地集会所にて、「ボランティアキャンプすず運営協議会」と共同で企画したチャリティイベント「食事会&椿ランタンをつくろう」を開催。栄養満点の「金芽米」を使用したおにぎり、温かい豚汁を用意した食事会(炊き出し)、珠洲市の花である「ヤブツバキ」に見立てた椿ランタン制作会、さらには、岩手県釜石市の老舗旅館「宝来館」の女将岩崎昭子さんをスペシャルゲストとしてお招きし、三陸の復興体験談を語っていただく「女将の語り部会」も実施しました。初めは緊張していた学生も、高齢者への配慮、居心地良い場所づくり、ランタン制作の過程で地域住民との距離が縮まりました。本イベントを楽しみに来た方も多く、会場は終始、笑顔溢れる和やかな空気に包まれました。当日の様子は北國新聞、岩手めんこいテレビで紹介されました。

【Photo Gallery】



学院

大学

新学部設置に向けて 協力企業2社と協定締結

2026年4月開設に向け、新学部「ヒューマン・データサイエンス学部(仮称)」の設置認可を申請しています。この度、新学部と連携する協力企業2社と協定締結が行われました。

株式会社タニタヘルスリンク

3月10日、株式会社タニタヘルスリンク(代表取締役社長:志士田 敬祐以下、THL)と包括連携協定を締結しました。

本協定は、ヘルスケア領域におけるデータ、知識を活用しながら、社会課題を解決できるデータサイエンティストの人材育成を目的としています。新学部の学びにおいて、THLが持つ健康づくりに関する情報やノウハウ、健康計測機器等を活用し、ヘルスケア分野におけるデータサイエンス教育・研究・人材育成を図っていきます。



左より島田昌和学院長・理事長、THL 志士田社長、福井勉学長

株式会社NTT DXパートナー

3月14日、株式会社NTT DXパートナー(代表取締役社長:阿部 隆)と「連携・協力に関する協定」を締結しました。本協定は、実践的なデータサイエンス教育と社会課題解決の取り組みを強化していくことを目的としており、DXやデータサイエンスを活用した地域連携を手掛ける同社と連携することで、産学連携を通じた実践的なカリキュラムの構築、デジタル技術を活用した地域の課題解決、さらには社会で活躍できるデジタル人材の育成を推進していきます。

「ヒューマン・データサイエンス学部(仮称)」(設置認可申請中)の学部PR動画も配信開始。動画はこちらから。



大学

日本製鉄釜石シーウェイブス ×「ブレーメンズ」学生

東日本大震災復興祈念試合で応援ミニフラッグを無料配布

3月8日、岩手県の釜石鶏住居復興スタジアムにてNTTジャパンラグビーリーグワン2024-2025ディビジョン2 第7節の東日本大震災復興祈念試合が開催され、本学の「ブレーメンズ」に所属する学生たちがデザインした日本製鉄釜石シーウェイブスとのコラボレーション応援ミニフラッグが、約6,000名の観客に無料配布されました。

今回の応援ミニフラッグは、日本製鉄釜石シーウェイブスのチームカラーである赤を基調とし、釜石ラグビーの象徴である大漁旗をイメージした太陽と「富来旗(ふらいき)」の波、そして「ねば〜だるま」が描かれています。「ねば〜だるま」は、「どんな逆境にも負けず、立ち上がり続ける」だるまの姿に、復興へと進む被災地の姿を重ね、「Never give up」という想いを込めたキャラクターです。2019年に釜石市根浜地区の皆様との協力のもと誕生し、現在に至るまで多くの皆様に親しまれてきました。

当日は、「ブレーメンズ」の学生4名が現地で応援ミニフラッグの無料配布をサポートしました。試合中は客席から来場者と一緒に、全力で応援しました。日本製鉄釜石シーウェイブスがトライを決めた時、観客席はフラッグの赤一色に染まり、その光景を見た学生たちの表情は達成感に満ちていました。

今後も本学は学生たちとともに東日本大震災の復興支援活動を続け、地域社会への貢献をさらに広げていきます。

【Photo Gallery】



学院

大学

アゼリーグループと 包括連携協定を締結

～保育、福祉、医療分野における多職種連携人材の 育成及び外国人材の育成を強化～

3月12日、アゼリーグループ(代表:来栖宏二)との包括連携協定締結式を本郷キャンパスで実施しました。アゼリーグループは、「福祉」「教育」「医療」の3つを柱とし、東京都江川区を中心に、地域に密着したサービスを展開している社会福祉法人です。

本協定は、本学院が擁する幼稚園・中高・大学・大学院のさまざまな教育プログラムと、アゼリーグループの地域密着型のサービス提供および多文化共生の取り組みの実績を生かし、「教育と福祉」の分野において、よりよい社会の実現を目指しています。双方が連携することで、実践的で有意義なプログラムを構築し、社会で活躍できる人材育成に寄与していきます。



左より福井勉学長、アゼリーグループ来栖代表、島田昌和学院長・理事長

締結の様子はこちらでダイジェスト動画をご覧ください。



高校

「探究学習成果発表会Fo-LAB」で 高校生2名が『グランプリ』受賞

2月11日、「探究学習成果発表会Fo-LAB」(主催:一般社団法人Fora)が文京学院大学スカイホールにて開催され、本校含む全5校11チームが参加しました。そして、本校からは高校3年理数キャリアコースの星野茉莉花さん、松下怜奈さん(共に当時2梅)の研究チームが参加し、最高賞である『グランプリ』に輝きました。

星野さんと松下さんの研究テーマは「スクミリンゴガイのフローティング行動の発見と解析」で、独創的な視点と深い研究心を持って自らの問いに向き合ったこと、卓越した発表などが評価され、今回の受賞に至りました。



左:星野さん、右:松下さん

中学

「創作ダンス発表会」開催

3月13日、「令和6年度創作ダンス発表会」が文京学院大学本郷キャンパス仁愛ホールで開催されました。今年も中学3年生の中から全11チームが出場しました。今年のテーマは「進化」。11月よりグループを組み、最も表現したいことを考え、チームで協力して取り組んできました。

初めは、表現したいことがまとまらず、互いに案を出し合っても意見が割れ、上手くいかないこともありましたが、しかし、どのチームも最後まで諦めず作品の完成に努めました。本番では、全員が主役になる程輝いた姿で踊り切りました。この3年間の想いを胸に仲間との絆を深め、取り組んできた最後の行事。表彰後に感極まり涙する生徒もあり、大変有意義な発表会となりました。



中高

全国大会で中学生チームがSONG/ POM部門Large編成で「第2位」入賞

3月16日、有明コロシアムにて「Dance Drill Spring Festival 2025 EAST東日本中学校・高等学校ダンスドリル競技大会2025」が開催され、中高チアダンス部が出場しました。中学生チームと高校Small編成チームが出場し、中学生チームはSONG/POM部門Large編成で「第2位」に入賞しました。

そして、3月25日・26日、幕張メッセにて「USA School&College Nationals 2025(以下、USA Nationals)」の全国大会が開催され、中学生チームと高校Medium編成チーム・Small編成チームが出場しました。中学生チームは、SONG/POM部門Large編成において「第2位」となり、本大会で初の入賞となりました。また、大会本部から推薦を受けて、「Performance Cheer Grand Final」の出場権を得ることができました。

中学生チームは、USA Nationalsが同じメンバーで演技できる最後の大会でしたので、思い切り楽しんで悔いが残らないように、気持ちを盛り上げて大会に臨みました。年度当初からこのUSA Nationalsで入賞する事を夢みて、目標にしていたので、結果を残せたことはメンバーの強い自信となりました。また新チームでも入賞できるように頑張っていきます。

高校生チームは、USA Nationalsの大会出場を目標にこの1年間頑張ってきました。練習場所や練習時間の制約がある中、工夫して取り組み、完成度とチームワークを高めてきました。幕張メッセという大きな舞台で自分たちの演技を披露できたことは最高の経験になりました。今回の大会で最上級生は引退し、4月からは新体制でチームを作っていきます。

高校Medium編成チーム▼

高校Small編成チーム▼



中学生チーム▼

BOOK INTRODUCTION

書籍紹介



『境界と周縁 —社会言語学の新しい地平—』

外国語学部 新井保裕准教授が東洋大学 三宅和子名誉教授とともに編著した書籍が刊行されました。(以下、ひつじ書房ホームページより引用)

本書は、21世紀の言語・コミュニケーションの課題に「境界」と「周縁」の視点から迫る。ジェンダー、翻訳通訳、危機言語、移動する人々、方言やマイノリティ言語、言語実践のリアリティなどをテーマとする11の論考は、「境界」と「周縁」の恣意性、曖昧性、政治性、暴力性、潜在するイデオロギーを多様な論点と方法で顕在化させ、新たな研究の地平を照らし出す。

(執筆)※敬称略 新井保裕、新垣友子、井上史雄、尾辻恵美、木本幸憲、熊谷滋子、クレア・マリィ、寺尾智史、坪井睦子、藤越、三宅和子 ひつじ書房(2025年2月)/3,740円(税込)

大学

Topic
01

2月27日～3月3日



「新・文明の旅+(プラス)」
学生8名が韓国・東亜大学との継続交流プログラムに参加

大学院

Topic
02



専門職大学院生が
保育・医療・福祉等の
現場課題を提起
「オピニオンレター」
全6回配信



学院

Topic
03

3月22日

文京学院100周年
記念イベント「アートと人
つながる・つどうコンサート
&シンポジウム」を開催
@ふじみ野ステラ・ウェスト



ひたむき・まへむき・おもむき
tomoちゃん

第96回

画:美術部(高校)春夏秋冬

